

# 2026年3月期第2四半期 決算説明資料

株式会社あいちフィナンシャルグループ  
2025年11月14日

# 目次

連結業績・配当	P2
銀行単体決算概要	P3
預金	P4
貸出金	P5
ソリューション・預かり資産関連手数料	P6
有価証券	P7
与信コストの推移・不良債権	P8
経費・ROE・自己資本比率	P9
業績予想	P10

本資料におけるあいち銀行の計数につきましては、各項目の適正な期間比較を行う観点から、以下のルールに則り算出した計数を記載しております。

- 2024年上期、2024年9月末までの計数  
旧愛知銀行及び旧中京銀行の計数を合算
- 2025年3月末、2025年9月末、2025年上期の計数  
あいち銀行の計数
- 2025年3月期の計数  
あいち銀行の2024年4月1日から2025年3月31日までの計数と、  
2024年4月1日から2024年12月31日までの旧中京銀行の計数を合算

- 国債等債券損失や与信関係費用の減少、統合関連費用の剥落等により、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比で大幅増益。

## あいちFG連結業績

(単位：億円)

	2024/上期	2025/上期	前年同期比
経常収益	474	559	85
経常利益	99	142	42
親会社株主に帰属する 中間純利益	71	100	28

## 配当の状況

- ◆ 2025年3月期  
第2四半期 50円 期末 60円 合計 110円  
※普通配当100円、記念配当10円（連結配当性向59.3%）
- ◆ 2026年3月期  
第2四半期 50円 期末 60円(予想) 合計 110円  
※普通配当110円  
2026年3月期の連結業績予想の上方修正を踏まえ、配当予想も修正（増配）

## 株主還元方針（配当政策）

収益基盤の強化に向けた内部留保を確保しつつ株主に対する還元を通して資本効率の向上を図るため、1株につき100円の年間配当を下限とし、自己株式取得についても柔軟に実施していくことを基本方針とします。  
具体的には、配当金と自己株式取得合計の総還元性向30%を目処とします。

## あいちFG連結損益

(単位：億円)

	2024/上期	2025/上期	前年同期比
1 連結粗利益	284	299	14
2 資金利益	259	252	▲6
3 役員取引等利益	60	54	▲5
4 その他業務利益	▲35	▲7	27
5 営業経費	220	219	▲0
6 貸倒引当償却費用	▲4	▲15	▲11
7 一般貸倒引当金繰入額	▲6	▲16	▲10
8 個別貸倒引当金繰入額	1	2	1
9 株式等関係損益	36	30	▲6
10 経常利益	99	142	42
11 特別損益	▲0	▲0	0
12 税金等調整前中間純利益	99	142	42
13 法人税等合計	28	41	13
14 中間純利益	71	100	28
15 親会社株主に帰属する中間純利益	71	100	28

# 銀行単体決算概要

## あいち銀行単体損益

(単位：億円)		2024/上期	2025/上期	前年同期比
1	業務粗利益	274	289	15
2	コア業務粗利益	306	299	▲7
3	資金利益	256	252	▲4
4	うち貸出金利息	187	250	63
5	うち有価証券利息・配当金	88	84	▲3
6	うち預金利息	16	87	71
7	役務取引等利益	54	47	▲6
8	その他業務利益	▲36	▲10	25
9	経費	218	206	▲11
10	人件費	100	102	1
11	物件費	100	87	▲12
12	実質業務純益	56	83	27
13	コア業務純益	88	93	4
14	コア業務純益(除く投信解約益)	86	93	6
15	一般貸倒引当金繰入額	–	–	–
16	業務純益	56	83	27
17	うち国債等債券損益	▲31	▲9	22
18	臨時損益	40	58	18
19	うち株式等損益	36	30	▲6
20	うち不良債権処理額	1	–	▲1
21	うち貸倒引当金戻入益	5	15	9
22	経常利益	96	141	45
23	特別損益	▲0	▲0	▲0
24	法人税等合計	26	41	14
25	中間純利益	69	100	30

## 決算概要

- 貸出金利息は63億円増加したものの、預金利息が71億円増加、有価証券利息配当金が3億円減少したこと等により資金利益は4億円減少。
- ソリューション関連手数料、預かり資産関連手数料、住宅ローン取扱手数料の減少等により役務取引等利益は6億円減少。
- 人件費は1億円増加したものの、物件費は合併による経費削減や統合関連費用の剥落等もあり12億円減少し、経費全体では11億円減少。
- 国債等債券損失は22億円減少と大きく改善、株式等損益は6億円減少。
- 貸倒実績率の低下により貸倒引当金戻入益を15億円計上。
- 前年同期に計上していた統合関連費用の剥落等もあり、経常利益および中間純利益は大幅な増益。

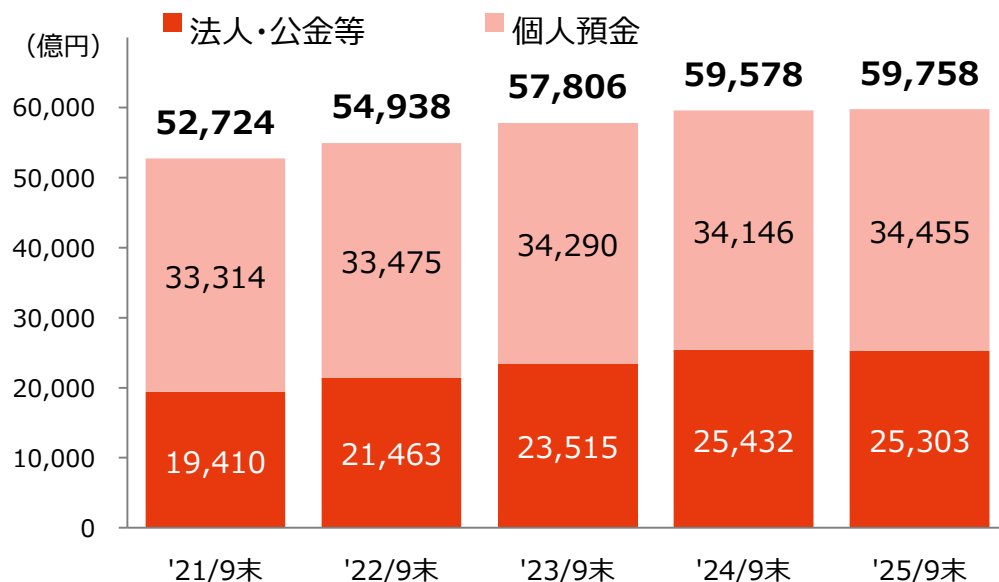
# 預金

FG連結

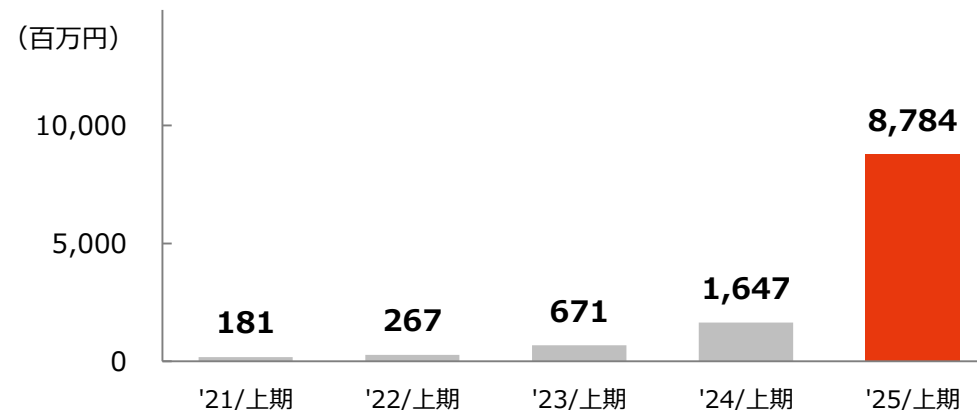
あいち銀行単体

- 預金残高（譲渡性預金除く）は、公金預金は減少したものの、法人・個人ともメイン化を進める中で前年同期比で180億円増加。
- 利回り上昇により預金利息は大きく増加。

## 預金残高（末残）の推移

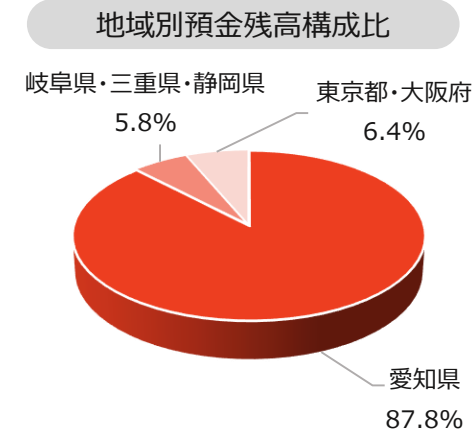


## 預金利息

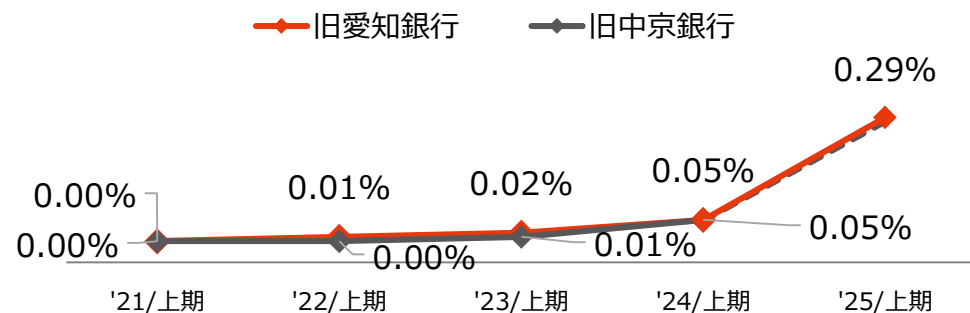


## 地域別の預金残高

	(単位：億円) 2025/9末
1 愛知県	52,473
2 岐阜県・三重県・静岡県	3,480
3 東京都・大阪府	3,804
4 合計	59,758



## 預金等利回り



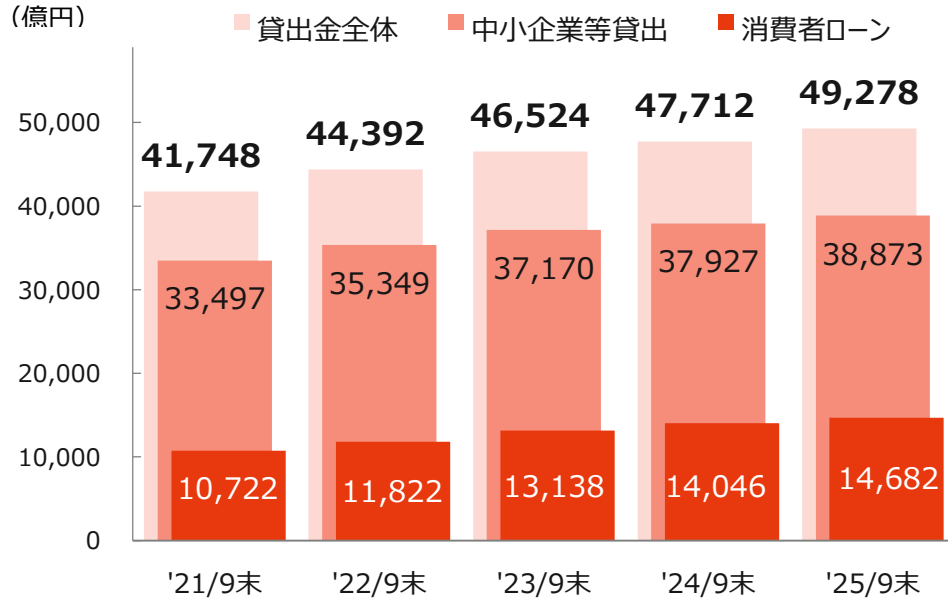
# 貸出金

FG連結

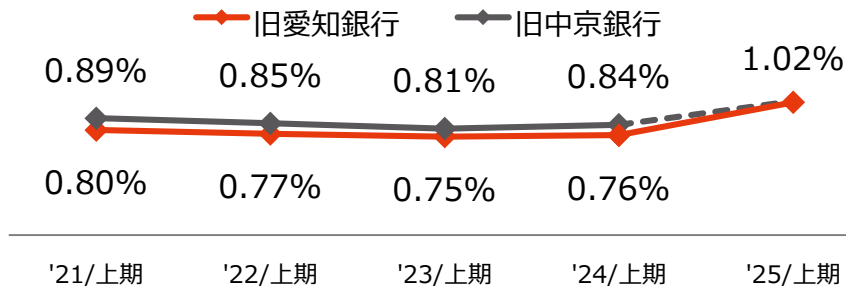
あいち銀行単体

- 中小企業等貸出および住宅ローンを主体に前年同期比1,566億円増加。残高増加に加えて利回りが上昇したことで、貸出金利息は前年同期比で大きく増加。
- 預貸金合計は10兆9,037億円となり、経営統合後3年間で9,705億円増加。

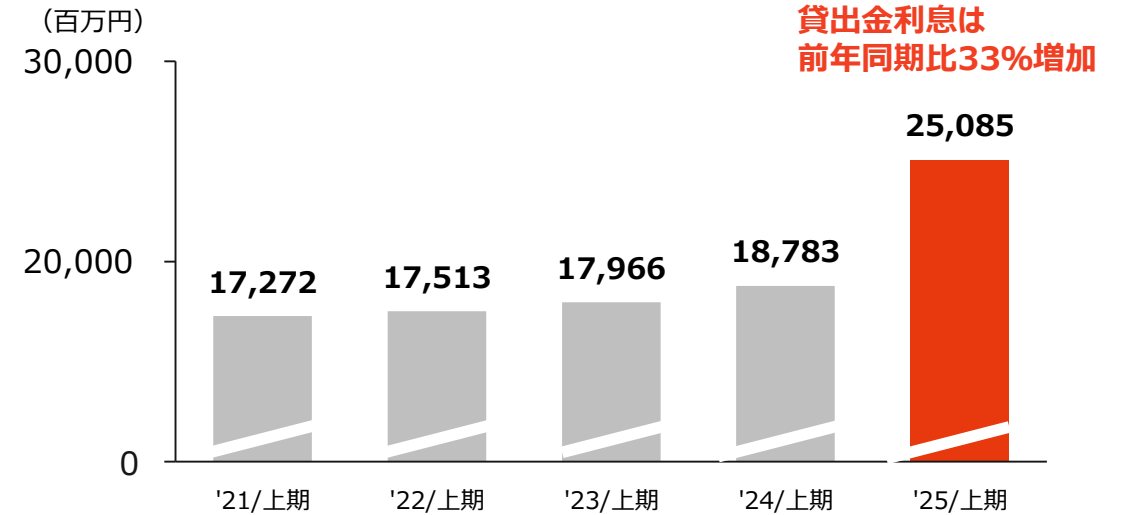
## 貸出金末残の推移



## 貸出金利回り

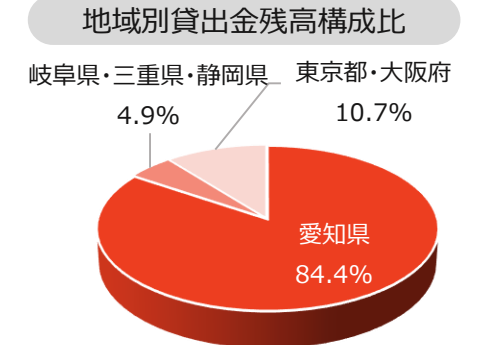


## 貸出金利息



## 地域別の貸出金残高

	(単位：億円)	2025/9末
1	愛知県	41,579
2	岐阜県・三重県・静岡県	2,409
3	東京都・大阪府	5,289
4	合計	49,278



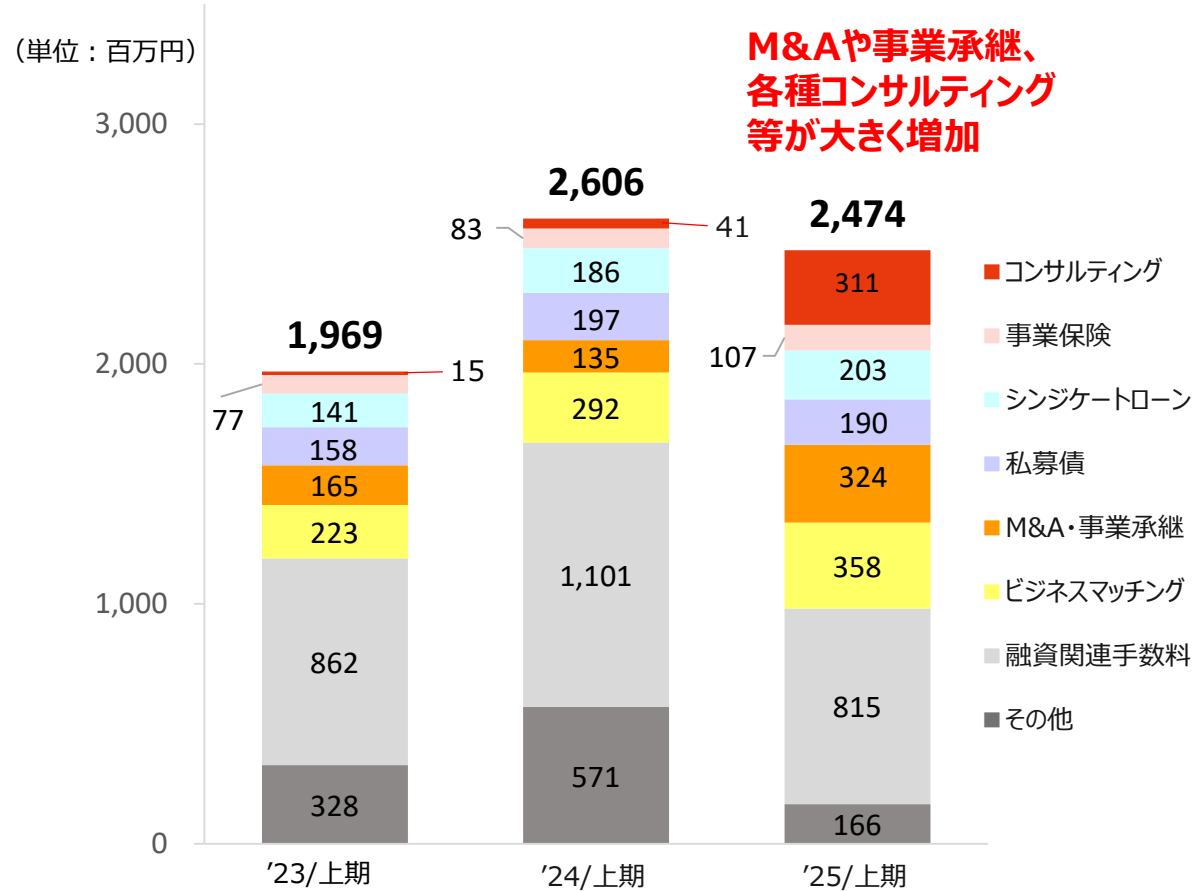
# ソリューション・預かり資産関連手数料

F G 連結

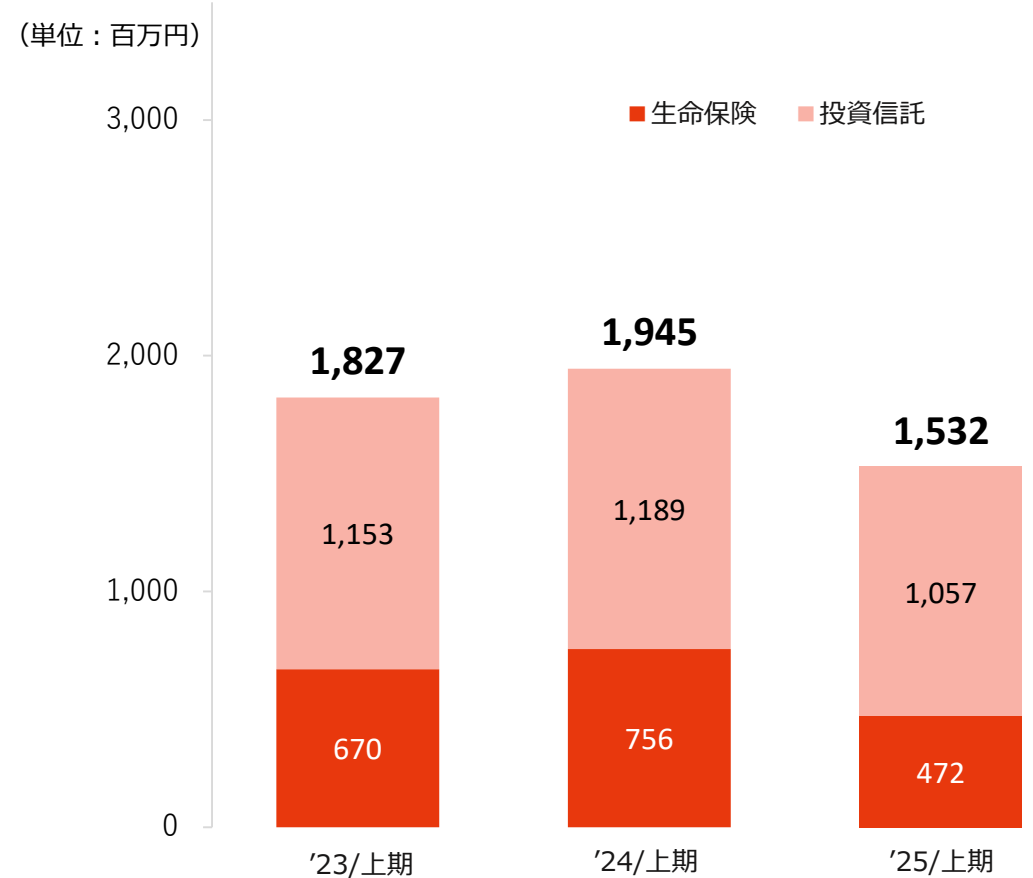
あいち銀行単体

- ソリューション関連手数料は、M&A・事業承継、各種コンサルティング、ビジネスマッチング等が大きく伸長。
- 預かり資産関連手数料は、市場環境や金利動向の影響により4億円の減少。

## ソリューション関連手数料



## 預かり資産関連手数料



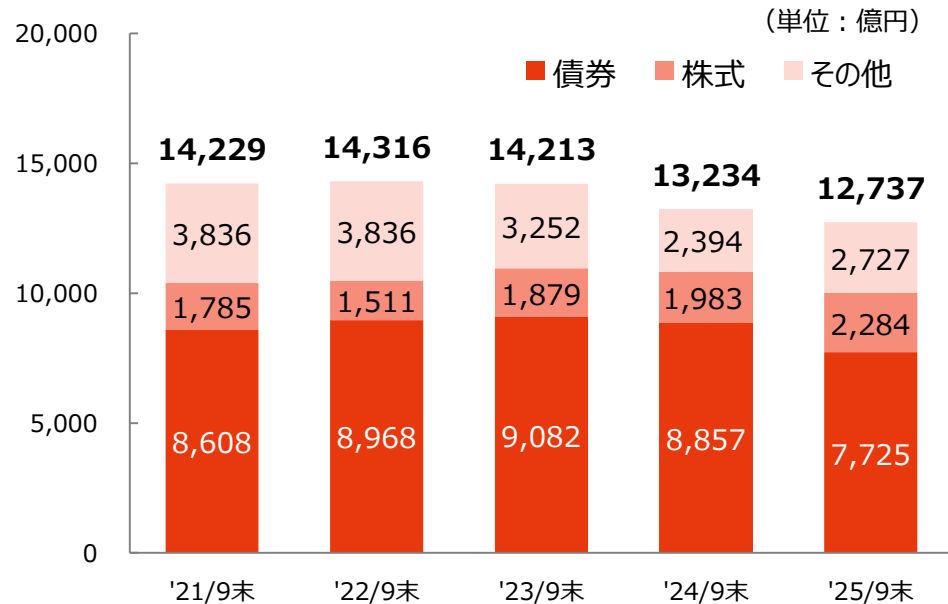
# 有価証券

FG連結

あいち銀行単体

- 金利・市場環境を踏まえ、保有残高やデュレーションをコントロール。有価証券残高は前年同期比497億円減少。
- 有価証券評価益は依然として余力ある水準。効率的かつバランスの取れたポートフォリオで安定的な収益確保を目指す。

## 有価証券残高



デュレーション(年)		'22/9	'23/9	'24/9	'25/9	
旧愛知銀行	円貨建債券	5.94	5.18	4.17	あいち銀行	3.07
	外貨建債券	2.57	1.56	1.71		1.98
旧中京銀行	円貨建債券	5.28	5.17	4.43		
	外貨建債券	4.16	2.17	1.23		

※旧愛知銀行およびあいち銀行のデュレーションはアセットスワップによるヘッジ効果勘案後の数値

## 有価証券評価損益

(単位：億円)

	2024/上期	2025/上期	前年同期比
1 評価損益合計	921	1,189	267
2 株式	1,020	1,289	268
3 債券	▲222	▲434	▲211
4 外国証券	▲2	▲0	1
5 その他	126	336	209

## 有価証券関連損益

(単位：億円)

	2024/上期	2025/上期	前年同期比
1 有価証券利息配当金	88	84	▲3
2 投信解約損益	1	0	▲1
3 有価証券関係損益	5	20	15
4 国債等債券損益 (債券5勘定戻)	▲31	▲9	22
5 株式等損益 (株式3勘定戻)	36	30	▲6
6 合計	93	104	11

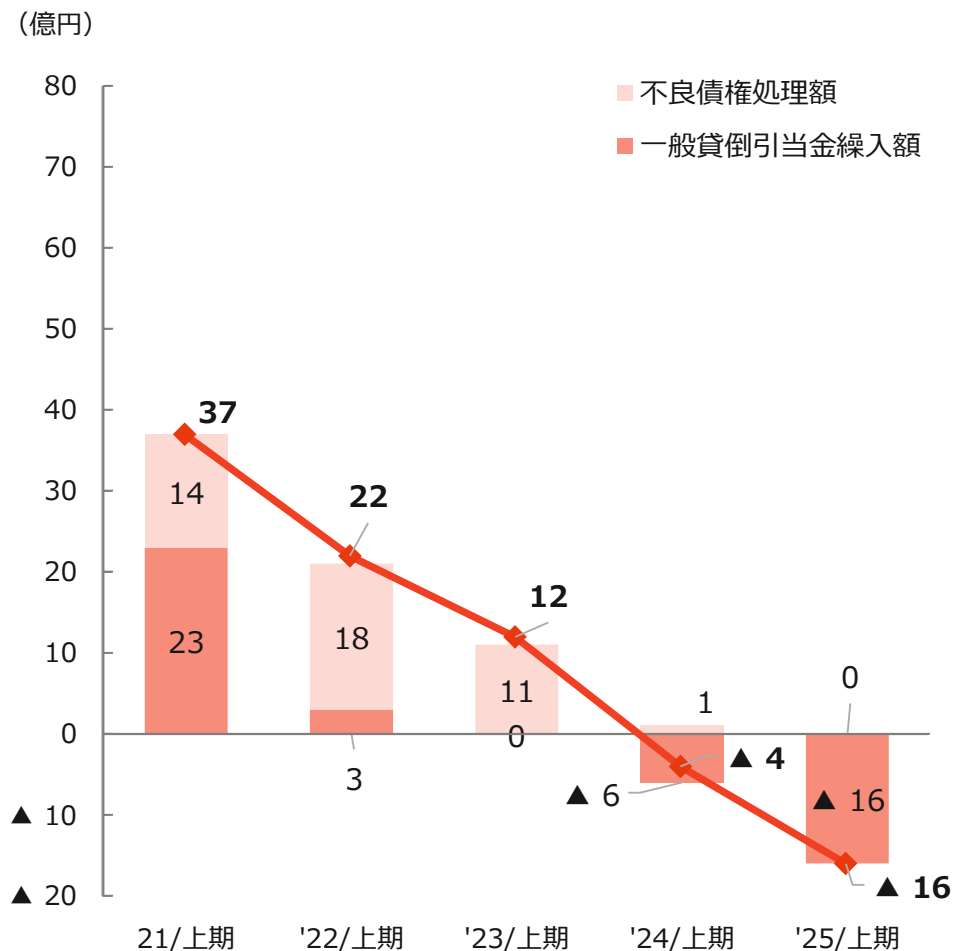
# 与信コストの推移・不良債権

F G 連結

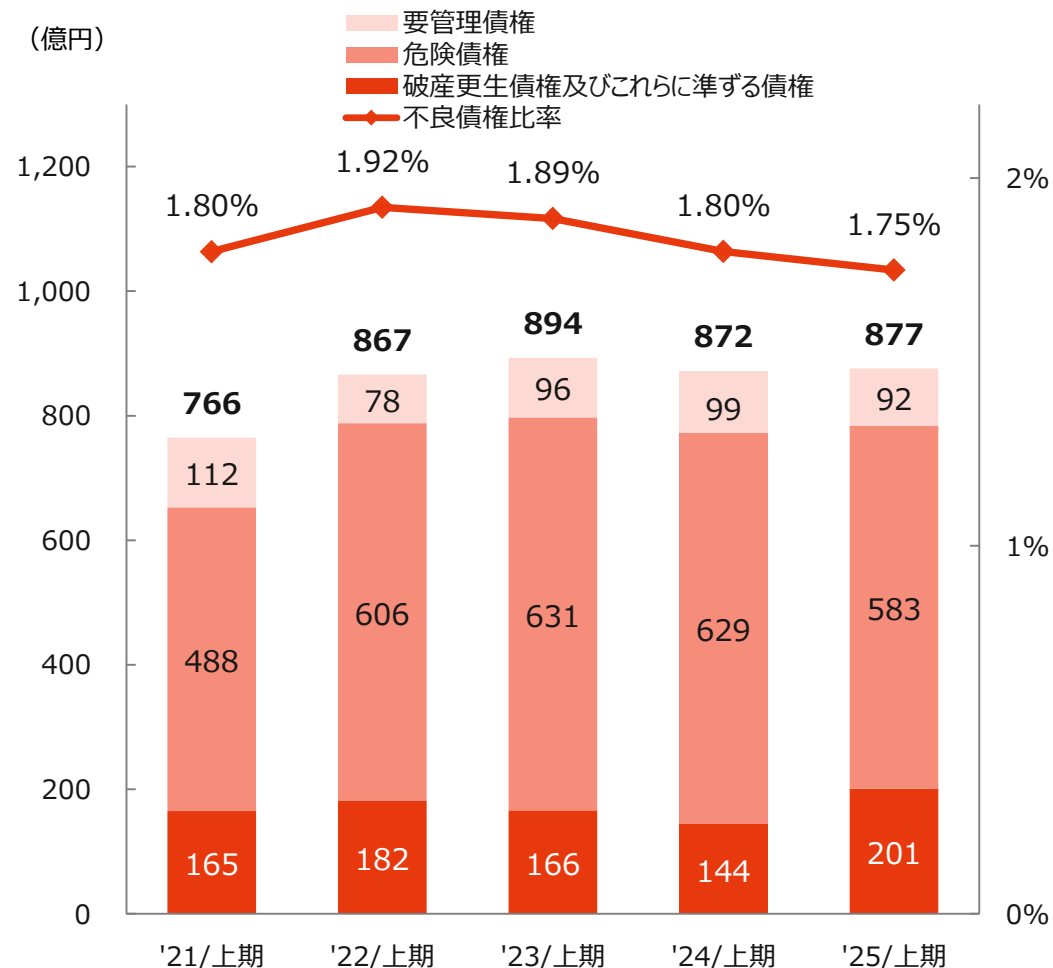
あいち銀行単体

- 貸倒実績率の低下により貸倒引当金戻入益を15億円計上。与信コストは前年同期比12億円減少。
- 不良債権比率は0.05ポイント低下し1.75%。

## 与信コスト推移



## 不良債権の状況



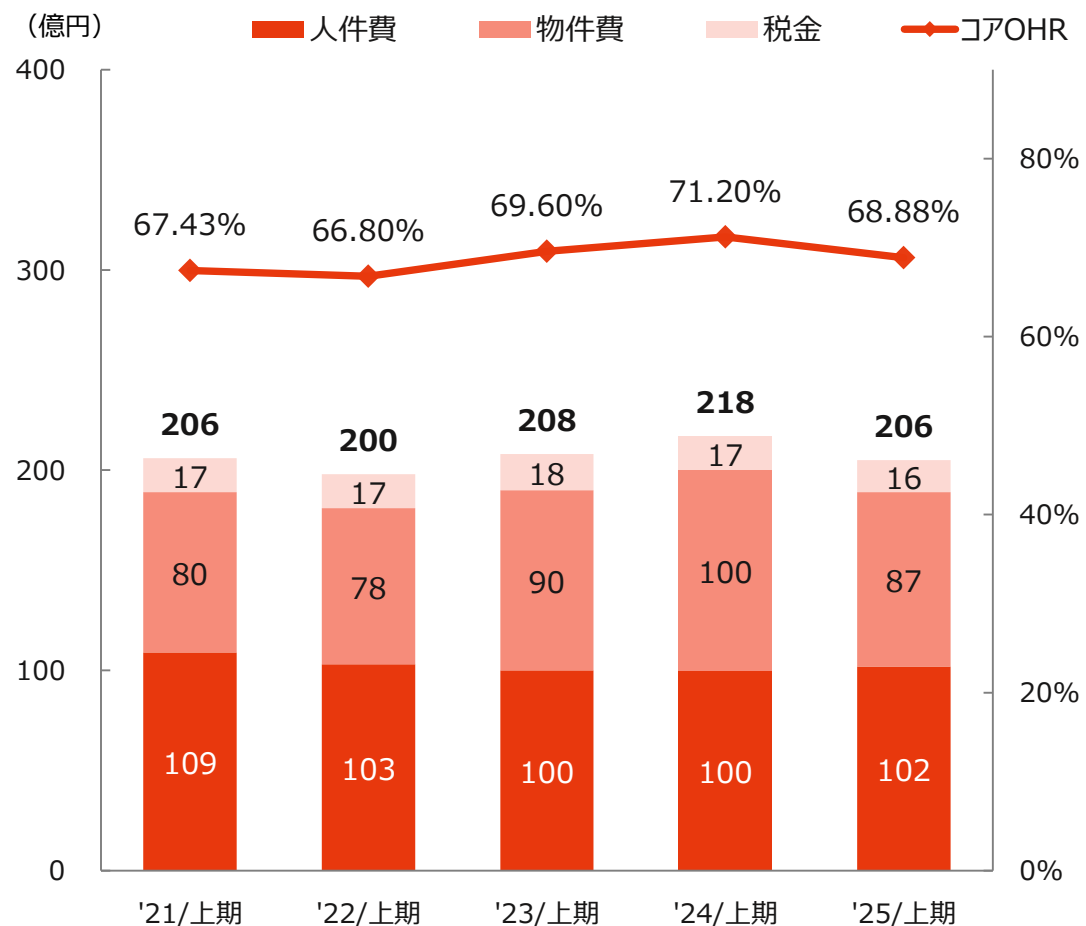
# 経費・ROE・自己資本比率

FG連結

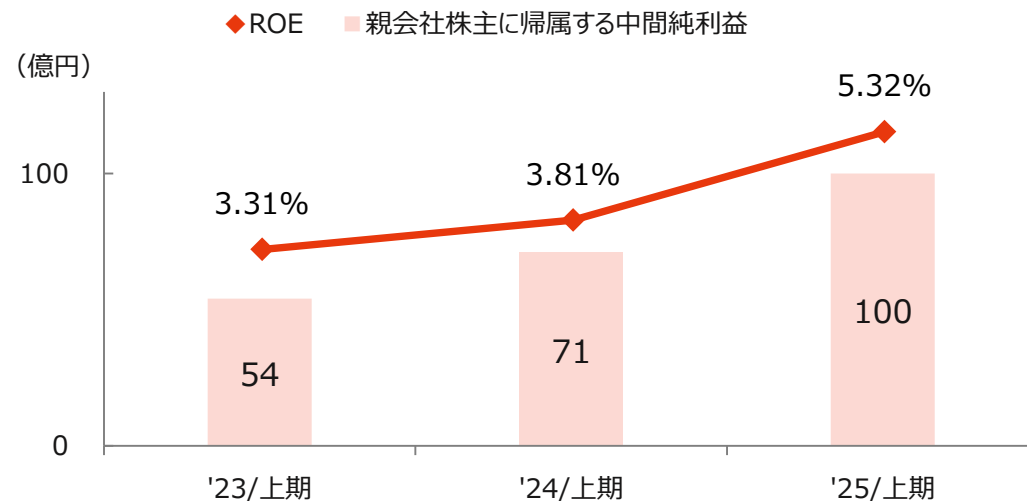
あいち銀行単体

- 統合関連費用の剥落等により物件費が減少したことでコアOHRは68.88%に低下。
- 利益水準の上昇により、ROEは5.32%に上昇。
- 連結自己資本比率は0.30ポイント低下し8.74%。

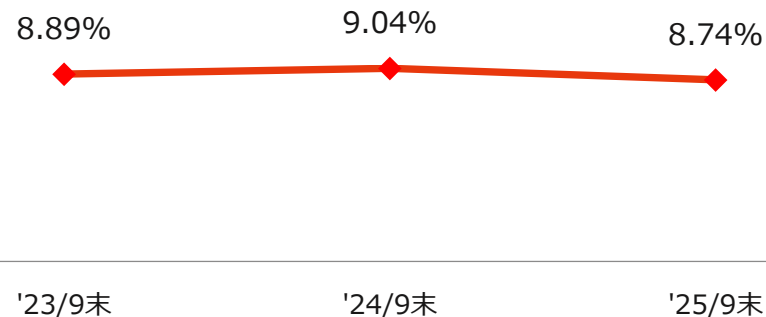
## 経費・コアOHRの状況（銀行単体）



## 親会社株主に帰属する中間純利益とROEの状況（FG連結）



## 自己資本比率の状況（FG連結）



# 業績予想

FG連結

あいち銀行単体

- 2026年3月期第2四半期までの業績を踏まえ、通期の業績予想を上方修正。連結経常利益予想は前年比157億円増加の260億円。
- 統合関連費用が大きく減少する他、国債等債券損益の改善、株式等損益の計上等により、親会社株主に帰属する当期純利益は前年比97%増加の180億円を予想。
- 合併シナジーの発揮により、FG2次中計最終年度の2028年3月期連結当期純利益は190億円以上の達成を目指す。

## FG連結

(単位：億円)

	2025/3期	当初予想	2026/3期 修正予想	当初予想比	前年比
1 経常利益	102	150	260	110	157
2 親会社株主に 帰属する 当期純利益	90	105	180	75	89

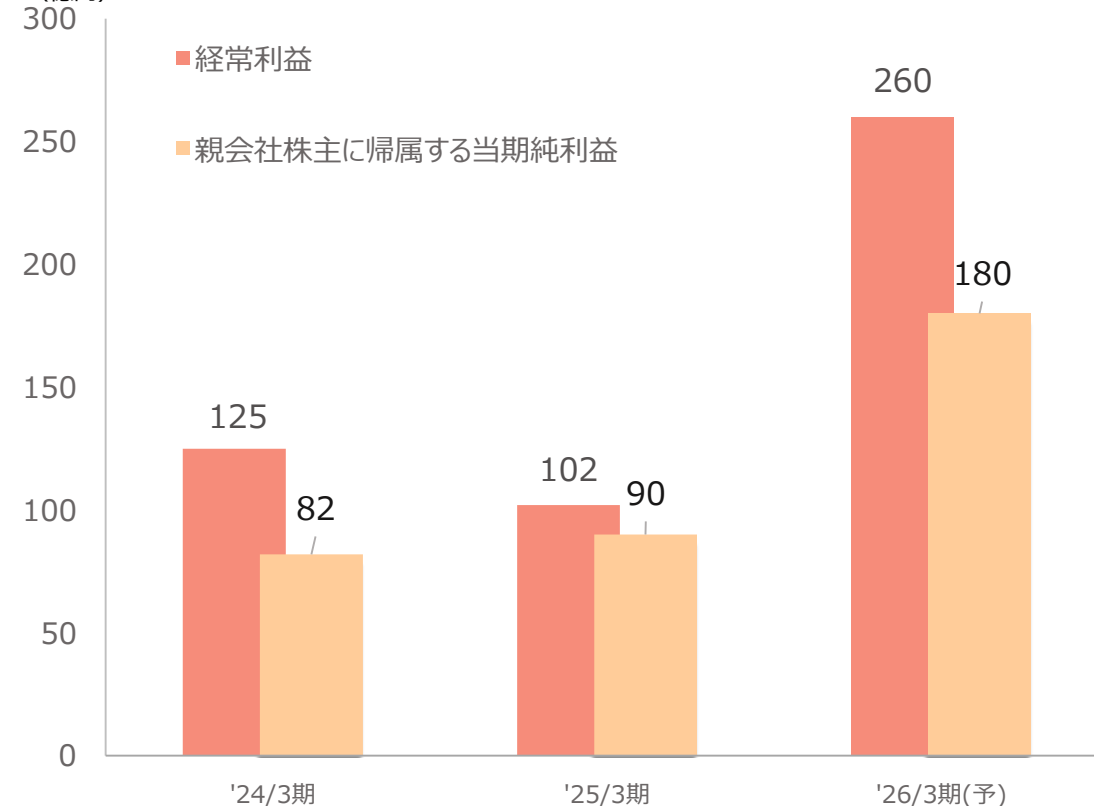
## 銀行単体

(単位：億円)

	2025/3期	当初予想	2026/3期 修正予想	当初予想比	前年比
1 コア業務純益	147	145	148	3	0
2 経常利益	103	148	263	115	159
3 当期純利益	96	104	183	79	86

## FG連結

(億円)



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化等により、異なる可能性があることにご留意ください。

<お問合せ先>

株式会社あいちフィナンシャルグループ グループ経営企画部

TEL : 052-262-6512

FAX : 052-262-6517

URL : <https://www.aichi-fg.co.jp/>